

新年あけましておめでとうございます

京都府本部執行委員長 山本和夫

今年はコロナ禍の第8波の中で迎えました。命と暮らしを政権に握られている私たち 毎日びくびくしながら過ごさなければなりません。

コロナで殺されてたまるか！

コロナで体が動かなくなってきたまるか！

年金者組合は「楽しみ7分 活動3分」が合言葉です。人生100年、「楽しまなくっちゃー」と元気で生き生きと過ごしたいですね。

今年の抱負は高齢者比1%の突破です。7360人です。全国1位は和歌山の0.9%です。京都は全国2位で0.77%です。あと、1500人の拡大で全国トップになります。拡大数もトップになったことがあります。4年前には金メダル・銀メダルで多くの仲間がふえました。機関紙コンクールで念願の最優秀賞に昨年になりました。中身の文化的な教養も前進座の観劇会は多数が毎年参加しています。全国高齢者大会も無事成功しました。年金者組合のメンバーが中心になって事務局も役員も頑張りました。こんな仲間がいる年金者組合がもっともっと大きくなることを願っています。せつかく短い人生で、生きている間に仲間と楽しみ仲間と打ち解けあって大きな組織にしていきたいと思います。

利用者や家族にすればいつ改悪されるか分からないままに介護保険の利用を受けるということになります。

京都社保協が取り組んだ22年度も、ほとんどの自治体から、「市民に不安をおおるような改正はしてほしくない」要介護1、2を介護保険から外して、市町村の責任で実施をすることになる総合事業にするなんてとても責任が持てない」という不安と批判の声が表明されました。

介護職員的大幅増員で 人手不足の解消こそ急務

22年2月から新たな介護従事者

の処遇改善が実施されています。しかし、全産業平均給与との差を埋めるには程遠い水準で、ケアマネジャー、訪問看護師、福祉用具相談員などが対象から外され、職場に混乱と断をもちこむ内容です。10月からは介護報酬に組み込まれ、利用者には新たな負担が発生しています。また、政府はテクノロジー機器の導入と引き替えに、職員の配置基準を大幅に引き下げようとしています。人手不足を解消し、行き届いた介護を実現するためには、介護報酬を引き上げ、処遇を改善し、介護従事者を大幅に増やして、一人夜勤をなくし、複数にすることで、人員配置基準の引き上げこそ必要です。

き上げこそ必要です。

いま必要なのは

「介護保険制度改悪先延ばしではなく中止を」の声を早急に広げることです

介護離職や介護を苦にした事件などがたくさん起きています。介護を受けやすくするのはなく、なぜ受けにくくする改悪をするのか。5年間で43兆円もの巨額のお金を軍費に使うのであれば、介護や医療、保育や教育にこそ回すべきではないのでしょうか。

今回の運動の到達点をさらにすすめる、「先送りではなく、中止を」の声を大きく広げていきたいと思います。

利用者負担、国民負担を増やすのではなく、「軍費増を止め、介護にお金を回せ」の声を広げていきたいと思います。そして、介護の現場が求めている、コロナ感染対策強化として、検査・ウクチン体制の整備、利用者・入所者が陽性となった場合や、クラスター発生時の支援、事業所に対する公費による減収補填などを実現させましょう。

利用者、介護事業所従事者が直面している困難の早急な打開と、介護

護保険制度の立て直しが急務です。お金の心配なく、必要な時に必要なサービスを利用できる制度への転換を求めていきたいと思います。

年明けには、中央社保協などがいまの情勢にあつた「新介護保険制度改悪反対署名」の運動がスタートします。介護が社会で支えるようになるように、すべての高齢者、障害者、国民が豊かな生活を過ごせるような社会にするために、ご支援をお願いします。

母の介護

私の母は96歳です。高校の体育の教師をしていたので、体力には自信があった母ですが、この頃は足腰が弱くなりました。家の中で転んで、自力で立ち上がれないことも時々あります。私は、毎日夕食を母に届けています。病院などに行くときや、リハビリの時も付き添っています。ケアマネジャーさんと相談して、現在「デイサービス」、「訪問リハビリ」に加え、週1でお風呂の介助に来てもらっています。この日は近くに住む妹に任せています。

昔、職場の先輩に「介護は足りないくらいでちょうどいいのよ。やりすぎたらあかんよ。」と教えてもらったことがあります。

一つお知らせしたいのは、杖やベッドなど介護用品を福祉サービスでレンタルする場合、年金者組合員は、「たすけあい介護サービス」というのを利用でき、レンタル料の利用者負担額が助成されます。遠方に住む家族でもOKです。母も電動ベッドや歩行器、立ち上がりステップ等安くお借りできています。

宇治久御山支部 山崎真理子

詳しくは03-6256-8967に聞いてください。

支部紹介⑨ 山科支部

高齢者人口比率%めざす

つながりを大切にお誕生日訪問 史跡巡り 居場所づくり運動など 最高時現勢は目前

山科支部は、1989年7月30日に76名で結成されました。山科区は京都市の11行政区の中で東山区に次いで2番目に高齢化比率が高く、31.7%（2021年9月）で、高齢者人口は42700人です。高齢化比率1%の組合員に向けて頑張っています。その目標に到達するにはまだ相当の距離があります。

2020年秋の仲間づくり月間で、組合員最高現勢は240名を達成しましたが、加入と同じくらい死亡などの退会があり、最高現勢回復に向けて取り組みを行っているところ

です。

支部では、月一回の定例の支部執行委員会を始め、毎月第二木曜の「敬老乗車証改悪反対」の宣伝を続けてきました。

楽しみ7分の活動ではカラオケ、書芸、手芸、史跡巡り等のサークルがあります。また、組合員とのつながりを強めるために、山科の地元産のお菓子を持って、毎月お誕生日訪問を続けています。3年ほど前は、支部の三役で組合員を訪問していましたが、今は学区毎に執行委員、機関紙配達担当者で分担して訪問しています。「お誕生日祝い」は、お祝いのお菓子と女性部の手書きのお祝いカードに支部からのメッセージをつけて贈っています。この訪問では、



史跡巡り 小山二の講、山の神の大蛇

組合員からは「日頃何も出来ていないのに」と恐縮されながらも喜んでもらっています。

文化のつといを成功

コロナ禍の中で組合員どうしの交流が満足に出来ずにきましたが、交流を深めるため、3年ぶりに感染対策も取り比較的大きな会場を借りて、11月17日「年金者山科 秋の文化のつとい」を開催しました。



作品発表展

この取り組みのなかで、デイサービスも利用されている方で「久々に歌を良かった」等の感想が寄せられています。つといの後に、地域での行動やカラオケサークルで仲間が増えました。あと5名で最高時を回復します。

現在、山科支部で唯一の班の陵ヶ岡班を中心に山科北部に居場所づくりの取り組みが始まり、支部としても担当執行委員を決め共に取り組んでいます。

記 浦本憲市

ワンショット

懐かしのユリカモメが「帰って」来たの？

チドリ目カモメ科



近年は丸太町橋から上流にはあまり飛来しなくなっていたユリカモメ。今年は北山橋から上賀茂橋のあたりまで、さかのぼって80羽ほどの群れでやってきた。その姿を思うとき、もう遠い昔のような気がする。

鴨川を飛び交うユリカモメの姿は京都の風物詩だったのだ。その姿が再現された今年、たくさんの人の気持ちを和ませている。

思い起こせば、鴨川の状態が随分と変化しているよ

うに思う。いたるところに中洲のような土砂が目立ち、草が生い茂り清流といわれた様相を変化させた。また、川鵜が繁殖し小魚が減少、樹木や花の咲く草が刈られ虫たちの姿も減少。そのため野鳥たちの休息の場が狭められてきたような気がする。小魚を餌にしていたユリカモメも必然的に減少、上流の方にはあまり来なくなっていたようだ。

やっぱり、冬になると鴨川にユリカモメが飛び交うのは京都の冬の景色を醸し出していたようだ。(浜)

京都年金者文芸



短歌

のぼりきし山の端みつめ上空へ

顔ほそめつつ哭くや月蝕

清源寺笑顔の木喰多く並ぶ

目の下ほぼがぶつくとふくらむ

日常に埋没すればウクライナ

戦禍のあるを忘れがちなり

以上丹雲の会船井

秋深く軒先の干柿渋がぬけ

ちようどいいころお茶の間で

「スイーチョ」路地に入ると虫の音が

落ち葉に隠れし姿目に追う

秋桜はメキシコ生れの日本花

花で繋ごう平和な世界

門前に観光客もペンをとる

核はいらぬと署名に応ず

以上宇治・久御山ねんきん

うそ寒き一日となりぬ座敷這う

飼い亀が我が足許へ寄る

透明な傘をさすとき花びらが

降ってきたら雨のかわりに

姪っ子の畑の明日の段取りを

農への残り火微かを掲げ

信州の旅終え焼きし道祖神

夫逝きて遙か蒼生して立つ

以上舞鶴年金者しんぶん

おはようさんと声かけ行き交う散歩道

一人足りない初霜の朝

6階より見る街ついでみとれ

西山に沈む満月大ききよ

足利 久(向日)

田中 康晴(西京)



俳句

石路の花孫の人生道しるべ

冬に入る我を励ます割烹着

鴨川の歴史つないで浮寝鳥

以上北桑田支部

老人ホームへ坂なだらかに秋桜

道案内聞くも答ふも着ぶくれて

待春や幾度も開く園芸誌

すぐ昼にすぐ夕暮に冬うらら

以上舞鶴年金者しんぶん

干し柿のすだれ小田原の里訪ぬ

猪鍋を友と語らむあの頃を

秋の蝶御陵の杜へ隠れけり

無農薬柚子宮司より届くなり

以上宇治・久御山ねんきん

秋深く夕暮れはやくてだいきらい

ワクチン打ち晩酌抜ききの冬の暮

以上「なかま」(下京)

吊るし柿風にゆらゆら甘くなる

オカリナの音色漂ふ冬浅し

綿虫に子等の手が舞ふ昼下り

枯尾花ゴリラは神となりて死す

以上「これから」(福知山)

六度目を測る血圧今朝の冬

鏡池に鹿振り返る黄落期

年迫るレジスターまた忙しく

冬浅しドーハの歓喜夢の如

以上ねんきん綴喜



川柳

憲法と暮らし破壊の大軍拡

生活を守ることこそ国防費

以上ねんきん綴喜

坂本二三恵

荒田 義枝

野尻 きみ

トシ子

登代子

実千枝

寿美恵

花野 玲子

野末たけのり

中村美紗子

今井 節子

尾崎 雅一

広田 浩三

一井 義光

近藤 壽美

堀 昭子

藤井 節子

佐藤 総子

木村喜代美

上林 花子

波部万智子

木村 博義

出雲 源人

趣味の紹介



絵手紙(左から) 長岡京支部 浦崎安江さん、西京支部 八木定子さん 西京支部 原口薫さん

懇談会で保護者との関係築く 5年続く漢字サークル 健康づくりはテニス

子ども好き小学教諭に

祖父、両親、おじ、おばも教師という教員一家に育ち、ご自身も60歳の定年まで小学校で教えておられました。市教組の山科支部執行委員も経験。大学の国文科を卒業されていて中高でも教えることはできたのですが、小さい子どもが大好き、「できれば幼稚園に行きたかった」そうです。初めて受け持ったのは左京区の八瀬校4年生。



卒業まで3年間、授業だけでなく、子どもたちと山登りや川遊び、飯ごうすいさんをして楽しんだそうです。そしてこの頃の目標は校長になることでした。「組合活動を生かして懸命やるなんて馬鹿げている」と考えておられました。

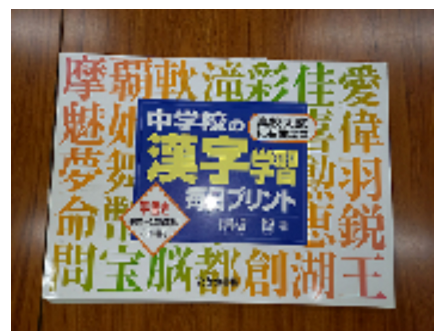
懇談会で会話を弾ませ

転機になったのは校区に被差別部落がある同和校に赴任したことです。学校で教えるも教えるも「次の日には真つさらになつていく、なんでやろう」と家庭訪問して、被差別部落の住宅事情を知りました。家の中に新聞も本もない、それどころか炊事、トイレも共同です。

それからは子どもたちの成長のために保護者と関係を深めたいと考え、月一回、夜に懇談会を持つことにしました。参観日より多くの参加があり、家庭のことを何でも話してもらいました。家庭での様子をしっかりと知ることが子どもたちとの会話が弾み、保護者と信頼関係が強まったそうです。さらに毎日のように、学級通信を出しました。学校から「紙の使用量が多い」と言われたときは、保護者が新しい用紙を提供してくださったそうです。このような晴枝さんの努力を認めてくれる校長もいます。理不尽な要求をする校長もいて、だんだん対

輝いて元気に

(はるまき さとる)
晴枝 智さん
(右京支部 87歳)



今は元教員の経験をかかし、登校できない小4の子どもさんに週2で漢字と計算を教えておられます。教材は市販品ではなく、ご自身で「抜け」のないようにと作られた問題を使います。また、東山区の小学校で多くを過ごされたことが

教材は自作ドリルで

立するようになります。また、教育環境を考えると政治的な課題も避けられず、組合運動に積極的に参加するようになりました。そのため目標だった校長にはなれませんでした。が、最後まで学級担任ができたことに満足のようでした。



ら「恩返し」と称して「脳トレ 漢字サークル」を始めて5年経ちました。先日の問題は「ウかんむりの漢字を覚えていただけ書いてみよう」等です。問題作りの材料はまだまだあると、意欲満々です。そして漢字の問題集も出版されています。「小学校の漢字学習 毎日プリント」は教員時代に実際に教材として使っておられたものですが、出版社から頼まれ中学校版も作成されました。

大学生時代からのテニスは、2年程前から病気で疲れやすくなったと月に数回になったそうですが、87歳になっても継続中です。まだまだご活躍を期待していますよ。

(取材・矢吹美根子
西田美津子)